

水郷のまち

第34号

令和4年1月30日発行

編集・発行

公益社団法人

柳川市シルバー人材センター

柳川市東魚屋町17番地3

TEL 73-4585 FAX 73-4515

会員 男性 373名 女性 149名

計 522名

(令和3年12月1日現在)

# シルバー やながわ



令和3年度柳和会親睦旅行集合写真（玉名温泉）

## 出張入会説明会開催

市内在住で60歳以上の働く意欲のある方  
(植木剪定/草刈/除草/屋内外清掃/  
家事援助/農作業/給食配送関係 等)

2月25日(金)

10:00 大和生涯学習センター  
第2研修室

13:30 三橋生涯学習センター  
研修室3・4

## 柳川市内の 空き家・空地の見回り

不法侵入・不法投棄・屋外の状況確認  
現状写真・点検報告書を送付します。

見回り1回 2,000円

写真・点検報告書に基づき、除草や剪定等のご依頼があれば、別途お見積りの上、了承を頂ければ作業を行います。

## 新年の挨拶



理事長 高田 淳治

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当センターの事業運営に対し、柳川市ご当局を始め、関係機関並びに関係団体の皆様には、格別なご指導・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により、活動の自粛を余儀なくされ各種行事の中止、延期、規模縮小、新規会員の減少など、センター運営に大きな影響を受けた年でありました。それでも当センターの受注額の実績は、県内の多くのシルバー人材センターが減額となっている中、昨年度実績と比べ、ほぼ同額で推移しています。これも偏に、市民の皆様はじめ、民間企業、行政、全ての皆様のお陰であり、心から感謝を申し上げます。

さて、シルバー人材センターは、労働力不足が顕著になっている我が国にお

いて、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなど、生きがいの充実、社会参加を推進することで、地域社会の活性化に寄与する団体として、大きな期待が寄せられています。このために、当センターでは、課題として掲げる「会員の拡大」、「就業機会の拡大」、「安全な就業促進」に積極的に取り組み、市民の皆様のご期待に応えられるよう役職員一同、研鑽に努めて参りますので、今後共ご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。

結びに、政府の新型コロナウイルス感染の「第6波」に備えた総合対策により、いち早くコロナが終息しますことを願うとともに、皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。

◎役員一同、本年も宜しくお願い申し上げます。

理事長	高田 淳治	理事	古賀 清人
副理事長	瀬戸口一光	理事	堤 洋子
常務理事	成清 博茂	理事	藤木利美子
理事	阿津坂正直	理事	柿野 誠
理事	伊藤 幸義	理事	松藤 満也
理事	佐藤 憲治	監事	古賀 和明
理事	西山徳太郎	監事	與田 義之
理事	森田 福好		

# 新年の挨拶



柳川市長 金子健次

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、関係の皆様のご尽力のもと、多くの会員の皆様のご活躍され、高齢者福祉の増進、地域の活性化に大きな役割を果たされており、心から感謝申し上げます。

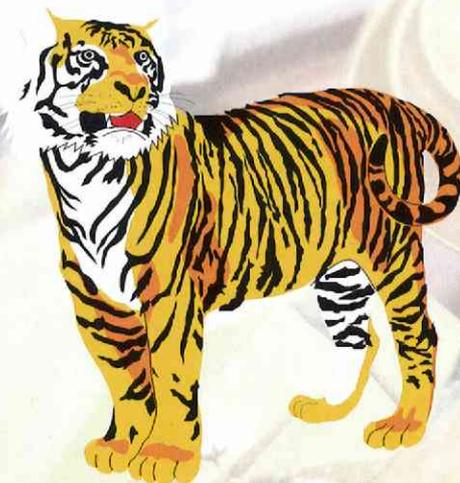
さて、本市においては、将来像である「水と人とまちが輝く柳川」を実現するため、高齢者が生き生きと明るく元気に過ごせる地域づくりを行なっております。

これは、高齢者が、地域に貢献できる機会を創出し、健康に暮らしていただく上で、「生涯現役社会」の実現を目指すことでもあります。

そのためには、シルバー人材センターが担う役割は、欠かせないものであることを認識しております。

したがって、今後も、シルバー人材センターの支援を継続して参りますので、貴センター並びに会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの更なる飛躍と会員の皆様のご健勝並びにご活躍を祈念いたしまして、新春のごあいさついたします。



### 令和三年度安全就業促進大会

令和三年十一月十三日（土）柳川総合保健福祉センター「水の郷」大ホールにて二年ぶりに開催し、約百三十名の会員が参加し安全就業を誓いました。

〈大会次第〉

一、開会の言葉

安全適正就業委員会副委員長

森田 福好

二、理事長挨拶

理事長

高田 淳治

三、安全委員長挨拶

安全適正就業委員会委員長

伊藤 幸義

四、来賓挨拶

柳川市長

金子 健次 様

五、安全標語優秀作品表彰

**最優秀賞**

やったつもり 見たつもり つもりの数だけ 危険がつもる

（柳川地区）成清 一昭

**優秀賞**

安全就業 ワッペン胸に 今日も笑顔

（大和地区）小宮 大吉

**優秀賞**

もう一度 心の中で 安全確認

（柳川地区）伊藤 幸義

六、講演及び特別出演

・講演「高齢者の交通事故防止対策について」

柳川警察署交通課 交通総務係長

梅野 勝徳 様

・特別出演

「篠笛とピアノのミニコンサート」

篠笛

久保 大作 様

ピアノ

平 洋子 様

七、安全就業宣言

安全適正就業委員会委員

目野 年行

八、閉会の言葉

安全適正就業委員会委員

相浦 國廣



柳川市長挨拶



理事長挨拶

長期（15年以上）優良会員表彰者

(敬称略)

会員名 (柳川地区)	会員名 (三橋地区)
甲斐田 園 一	橋 本 忠 美
白 鳥 千力工	岡 部 安 子
津 村 朝 子	犬 丸 國 江
津 村 富美子	大 橋 一 美
福 山 ツヨ	下 川 蓮 男
鳥 巢 益 廣	石 橋 實 子
江 崎 ケイ子	友 添 秀 幸
堤 洋 子	石 橋 正 一
内 藤 喜代子	森 勝 則
相 浦 孝 敏	目 野 睦 子
龍 昭 人	熊 丸 宣 俊
本 吉 貞 男	田 中 功
田 中 寛 子	石 橋 未 敏
伊 藤 久美子	白 鳥 安 信
松 本 和 子	松 本 信 敏
松 本 シツ子	藤 木 正 宏
大 城 富 士 子	会員名 (大和地区)
山 崎 トミヨ	高 口 哲 夫
島 照 夫	中 村 新 一
立 花 優 子	川 口 モモ工
近 藤 ス工子	光 延 保 夫
田 中 照 江	山 田 一 男
大 淵 ミチ子	内 田 則 昭
立 道 静 子	相 浦 國 廣
彌 永 脩 一	(以上60名)
妻夫木 久 子	
横 山 正 司	
大 淵 栄 次	
高 田 武 美	
佐 藤 正 彦	
高 田 宣 洋	
石 川 仁 吉	
龍 信 彦	
古 賀 靖 子	
富 安 千 佐 子	
野 口 嘉 七 郎	
森 七 郎	



おめでとうございます。  
これからも  
宜しく願います。



安全標語表彰



長期優良会員表彰 (各地区代表者)



梅野交通総務係長による講演



篠笛とピアノのミニコンサート

令和三年度

会員奉仕清掃活動

令和三年十月二十三日（土）にシルバー人材センター事業普及啓発促進月間の活動の一環として、柳川・三橋・大和地区の左記の場所にて会員奉仕清掃活動を行いました。

ボランティア活動として、百三十名の会員が参加し、各地区において草刈や除草・清掃活動を行いました。

今後も活動を通じて、地域の発展の一助になるよう努めていきます。

地区	作業場所
柳川地区	からたち文人の足湯公園 かんぼの宿北側 周辺
三橋地区	三橋庁舎 三橋生涯学習センター 図書館 体育館 } 周辺
大和地区	大和庁舎 大和生涯学習センター 庁舎南側遊歩道 } 周辺



〈作業風景：柳川〉



〈作業風景：柳川〉



〈作業風景：三橋〉



〈作業風景：大和〉



〈準備体操：柳川〉



〈開会式：三橋〉

### ◎事業推進に向け柳川市長を訪問

令和三年十月二十八日（木）柳川市シルバー人材センター高田淳治理事長、瀬戸口一光副理事長兼総務委員長、成清博茂常務理事兼事務局長、古賀清人事業推進委員長、伊藤幸義安全委員長、職員の六名で金子健次市長を訪問し、センターへの支援の感謝と事業推進報告及び意見交換を行い、シルバー事業の推進・拡大に向けて要望しました。



シルバー事業の実績報告と今後の課題（インボイス制度）等について意見交換を行いました。



柳川市SCの要望書を手渡しました。

### ◎柳和会（会員互助会）の活動報告

令和三年十一月四日（木）二年ぶりに柳和会の親睦旅行（玉名温泉）を行い、三十六名の会員が参加しました。グラウンドゴルフや会食を楽しみ会員同士の絆を深めました。



柳和会 大橋会長挨拶



グラウンドゴルフ集合写真



会食風景

令和三年十二月五日（日）に日吉神社にて会員の安全と健康を祈願した後、柳和会による奉仕清掃活動を行いました。



安全・健康祈願



柳和会奉仕清掃

## シルバー人材センターの活動紹介



(7月13日 無事故・安全祈願)  
会員の無事故・安全祈願を日吉神社にて祈願しました。



(10月25日・27日 手芸講習会)  
2022年(令和4年)の干支の寅の人形や小物づくりを行いました。

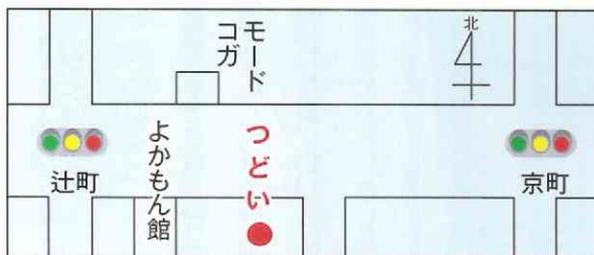


(11月19日 高齢者お仕事相談会)  
柳川市役所三橋庁舎にて、高齢者の方のお仕事相談会に参加し、シルバー人材センターの紹介や個別に相談と質問等にお答えしました。



## さげもんめぐりの開催について

令和4年2月11日から3月27日まで京町商店街おばちゃんキッチン「つどい」の2階にて、今年も会員手作りの伝統さげもんや柳川まり、小物の展示・販売を行いますのでお気軽にお越し下さい。



展示時間 10時から16時



## 「会員のひろば」

## 魚釣りとは卓球

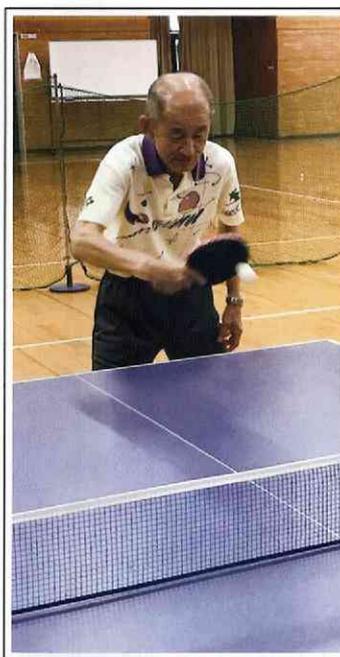


大和地区会員 渡辺 洋児

(六十六歳)

魚釣りは幼少のころから近くの堀でフナ釣りをしていましたが、四十歳くらいから海釣りを始め、現在は遊漁船で長崎県の吉岐沖や西海沖でイサキ、真鯛、レンコ鯛、クロ、アラカブ、イカ等を釣っています。写真は4年前ですが、西海沖の船釣りで、急に強い引きがあったので、大鯛かヒラマサだと思い、またハリス（糸）が5号と細く、強引にリールを巻き上げればハリスが切れるので、二十分ほどやり取りしました。そして、海面に浮いてきたのがなんと体長一メートル十センチ、重さ二十二キロの大型クエでした。これには、私は勿論、船頭もビックリして、こんな大きなクエが釣れたのは遊漁船をして初めてだと言われました。持参したクーラーに入るはずもなく、漁協から長い発泡スチロール箱を用意してもらって持ち帰りました。勿論こんな大きな魚を自分で捌ききれないので、近所の魚屋さんから捌いてもらい、刺身にして知人にお裾分けしました。四十人分以上はあったと思います。

卓球は本格的に十八歳から始め、二十六歳から五十三歳まで外部指導者として大和中学校の卓球部の指導に携わりました。昨年大和中に復帰して部員の練習相手していますが、いつの間にか髪が少なくなり写真では、めっきり頭が光っています。



六歳下の弟も卓球を中学校から始め、昭和六十三年ソウルオリンピックと平成四年バルセロナオリンピックに日本代表で出場しました。また今回の東京オリンピック後に全日本卓球女子監督に就任し、2024年パリ五輪で世界一を目指しています。

今回の東京オリンピックの卓球競技では日本は男女とも活躍して、メダルも金一個、銀一個、銅二個を獲得しました。

2024年パリ五輪では表彰台の真ん中に立ってほしいものです。皆さんこれからも卓球日本を応援して下さい。

# 新年度（4月）に向けて就業会員急募!!

令和3年度12月現在

就業形態 (受託/派遣)	業務内容等	募集人数	配分金/ 賃金等	就業日時等	就業内容等
受託	柳川市内 小・中学校 学校管理業務	複数名	1日5,220円 ～6,960円	月10日程度 1日実働6～8時間	学校敷地内の屋内外清掃等 業務。 戸締り等に関すること。
受託	柳川市内 施設管理業務	複数名	月10日程度。就業時間や報酬については施設や時間帯によって異なります。		施設利用の受付、清掃、事務、管理等業務。
受託	柳川市内 植木剪定業務	複数名	1日6時間就業した場合7,200円 ※発注者からの依頼に対して就業会員が常に不足しています。		植木の剪定業務。 (ハサミ等は自分で準備)
受託	柳川市内 草刈業務	複数名	1日6時間就業した場合7,200円 ※発注者からの依頼に対して就業会員が常に不足しています。		草刈機を使っての草刈作業。 (草刈機等は自分で準備)
派遣	給食配送業務	複数名	時給1,040円	月10日程度 (実働6時間前後)	柳川市内の小中学校への給食等の配送。 ※給食がある時のみ。

※現在、新年度に向けて当センターでは上記のお仕事ができる方を探しています。ご興味がある方は、**入会説明会（事務所にて、毎月10日・20日 第3・第4水曜日の10時から）**にご参加ください。上記以外にも様々な依頼が発注者からあり、会員が不足している状態ですのご入会の程お待ちしております。

## 編集後記

新春を迎え、心があらたまり、新たな希望がわいてきます。

私たちの生活に大きな影響を及ぼし続けている新型コロナウイルス感染症。今年は収束し、皆さんに笑顔が戻ることを願っています。さあ、元気に一年の歩みを始めましょう。

日頃、シルバー人材センター会員として就業する中で、老若男女の方々へと接する機会が多く、日々『働く喜び』を感じています。高齢者の『よらよら』こそ老いをはねつける良薬で、健康維持や若さを保つ大きな秘訣になっています。

今年も健康に留意して喜びとなる出会いを楽しみながら働きたいと思えます。

当シルバー人材センターは一緒に就労される仲間を募集しています。これまでの人生経験を活かした仕事、新しい分野の仕事など、希望に沿った働き方ができます。

また、技能を習得したり、磨いたりするための講習会を実施していますので安心して働けます。それに、仕事以外にも趣味、柳和会（会員互助会）での同好会、旅行、ボランティアなど様々な活動を実施していますので、仲間づくりとともにきつとやりたいたいことが見つかると思います。

入会をお待ちしています。

（編集委員・熊丸）